

## 補正ボランティアやっています!

軍服から洋装まで、奥松洋服店としてミシン一筋78年。その腕を活かし地域の方のお役に立ちたいと、現在、仮設住宅に暮らしながら裾上げなどの補正を無償で行っています。今までにマスクを2,000枚以上縫ってお配りしました。



### 【担当相談員より】

「縫うことは私の生き甲斐、また認知症予防になりますから」と笑顔の素敵な奥松澄子様です。



- 【電話番号】 ☎0966-23-3364
- 【受付時間】 午前9時～12時（火曜日以外）  
午後5時～6時
- 【お願い】 ・住所は、電話をかけた際にご確認ください。  
・補正を依頼される時は、その生地合ったミシン糸をご持参ください。

## 写真洗浄ボランティア「あらいぐま人吉」



豪雨災害で被災した写真の洗浄を行うボランティア団体「あらいぐま人吉」さんをご紹介します。現在、月2～3回、温泉町の湯の元観音堂や相良町公民館で活動をされています。被災した写真を捨てられずお持ちの方、相談されてみませんか？

### 【依頼された方の声】

洗浄されて戻ってきた写真を見て、子どもや孫が「なつかしい!」と昔話に花が咲きました。  
(永山ウメノ様)

- ・写真の洗浄は無償で行います。
- ・お預かり期間は半年～1年半ほどになります。
- ・事前にご連絡をいただければ、写真を預かりに伺います。

【お問合せ】 あらいぐま人吉 上野真由美  
☎090-2500-7799  
※洗浄ボランティアも募集しています。

洗浄前

洗浄前と洗浄後の写真の違いを画像で紹介

洗浄後



泥やカビで汚れた写真やアルバム



画像が崩れた写真



重ねたまま固まった写真



画像が崩れた部分を洗い落としアルコールで拭き上げてから新しいアルバムに入れます。

人吉市地域支え合いセンター



# スマイルだより

No.4  
2023.4

被災された方々が生活再建できるよう、「見守り」「生活・健康支援」「地域交流の促進」など総合的な支援を行っています。

編集発行 人吉市地域支え合いセンター  
人吉市西間下町4-1番地1  
☎0966-24-5570

## 生け花教室がはじまりました!

スマイルだよりNo.3でご案内した「生け花教室」がはじまり、村山公園仮設、石野公園仮設、下原田第一仮設で開催したところ、仮設外からも多くの方が参加されました。小さなスペースに置くことができるよう、花器もコンパクトな物が準備されており、皆さん集中して生け花に取り組み、春を感じさせる素敵な作品が完成しました。初めての方も大歓迎です!皆さまのご参加をお待ちしています。

生け花を習ったことはなかったけど、新鮮で楽しかったです。

ずっとこういうのを待ち望んでいました!

以前、生け花を習っていて30年ぶりに花を生けました。とても楽しかったです。



会話したことがない方と話すことができました。

日常と違う時間になり気分転換になりました。



### 参加者募集中!

現在、村山公園仮設と下原田第一仮設のみんなの家で開催しています。

料金: 700円 (材料代)  
準備物: 花ハサミ (お持ちで無い方は準備します)  
講師: 池坊人吉支部

☆講師料は無料です。  
ボランティアで教えていただきます。

申し込み: 人吉市地域支え合いセンター  
☎0966-24-5570

# 私たち頑張っています！

## 瓜生 ヨウ子様・満谷 知恵子様

令和2年7月豪雨災害から2年半、我が家は全壊、実家は大規模半壊に遭ってしまいました。あっという間の出来事でした。

外では腰まで水が来ており、実家の母は障がいがあるため一人ではどうすることもできず、近所の方々に助けをいただきました。恥ずかしいことですが、下着、服等何もなく、お隣から借りました。

その後は実家の納屋を一部改装し、母との生活を始めました。家は公費解体していただき、多くの方々に涙が出る真心を頂きました。この出来事は一生忘れることはできないでしょう。

昨年10月末に実家に新居が出来ました。小さな家ですが、胸に込み上げるものがありました。これからも、96歳の母と共に頑張っていきます。

(担当：大瀬彦一・菖蒲幸子相談員)



## 原口 吉郎様・幸恵様・由美子様

水害の日、「浸からないだろう」と思っていたのですが、水が来ているのが見えたので避難をしました。車も浸かってしまい、家の近くの天守閣様で避難生活を送りながら、ボランティアや多くの方々のおかげで片付けができました。その後、市営住宅(みなし)に入居できることになり入居しました。市営住宅はつくりが頑丈なので台風が来ても問題なく、このまま住み続ける選択肢もありましたが、災害公営住宅の話が来たので、せっかくだからと申込みました。新しい土地へ移る不安もありますが、新生活を楽しみにしています。

昭和50年から約45年間フランスのパンをご愛顧いただきありがとうございます。被災していきなり店を閉めてしまうことになってしまい、お礼もご挨拶もできないままだったので、この場を借りてお礼とご挨拶を申し上げます。



## 村口 和彦様・洋子様

未曾有の豪雨災害により二年と半年が過ぎました。無我夢中での復歸に焦りもありましたが、一年後には元の家のリフォームもほぼ終わり、不自由な六畳一間の仮住まいから脱出することができました。

災害以来、地域支え合いセンターの高村さん橋本さんお二人の定期的訪問には随分支えられました。この場をお借りして御礼申し上げます。

支援物資を頂き、改めて多くの方たちのお陰で生かされている自分たちに気づかされました。

まだまだ不自由な生活を余儀なくされてる方もおられますが、この悲劇は二度と味わいたくないものです。

(担当：高村龍子・橋本省子相談員)



## 菊地 昇様・紀子様

温泉町で被災し、避難所に身を寄せました。当初何も無くとも不安でしたが、そんな時、避難所まで友達が尋ねてきてくれて「大丈夫ばい」と声をかけてくれました。たった一言でしたが、心強く、なにより嬉しかったです。一生忘れません。また、多くのボランティアの方や知人に物心両面で支えてもらいました。

避難所生活は周りの人に気を遣うし、ストレスが溜まりました。夫婦喧嘩もしましたし、眠れない日もありました。あんな思いはもう二度とたくありません。

現在、市営住宅(みなし)に住んでいますが、見知らぬ土地で温泉町が恋しくなることもあります。

この度、災害公営住宅に入居することになりました。新たなご近所付き合いなど不安なこともありますが、新しい生活をとても楽しみにしています。



## 木村 ツヤ様・芳江様

被災して早2年7ヶ月、あっという間でした。地域の方、ボランティアの方、そして支え合いセンターの方に助けられて、今の生活があると感謝しております。錦町は住み良い町ではありますが、やはり母も私も永年住み慣れた人吉の町に戻りたいと思っています。

災害公営住宅での生活に向けて、どんなインテリアにしようかと今からワクワクしております。リビングルームには、ソファを置いて、テーブルには素敵なクロスを掛けて・・・と夢はふくらむばかりです。

※撮影時のみマスクを外しています。



## 田中 陸登様・蒼人様

カヌーの練習場が被災し、半年以上球磨川で練習することができず、市房ダムまで往復2時間かけて、練習に通っていました。中学校・高校で合わせて6年間カヌーを頑張り、高校3年の時はインターハイに出場し、8位入賞できました。高校卒業後は、陸上自衛隊で仲間と一緒に頑張ります！

(陸登様)

被災後に支えになったものは、西瀬小学校に届けられた支援物資です。ランドセル、えんぴつ、バッグ、筆箱、鍵盤ハーモニカがあったから、とても嬉しかったです。クラブでやっているカヌーを頑張っています！

(蒼人様)

